

編輯後記

交 詢

司法問題の多くは一見してまことに駭めしい感じを興へるものでありますが、その内容を打ち割つて掌上に乗せて見ますと、弱い人間の一部の性格が明かに曝露されて居りました。而も恐らく人々の動靜、經濟の變化に次ぐところの社會問題だと思ひますので、鐵扉を思ひ切つて押し開き、その内に渦を卷く澤山の現象を、縱横に取り扱つて、皆さまの御覽に供したやうな次第であります。

司法關係の問題は、實はあまり有り過ぎるのです。たとへば警視廳所管に係はるものばかりでも、之を仔細に探究しますならば、東京市の内外に潜み、且つ上へに蟠る幾多の事實が、あまりに豊富に展開せられる事でありませう。陸軍でも海軍でも、司法省といふ名でない刑の關係なら、これも亦指を屈すのに煩雜を覚えるほどあります。然しこゝには我等の當に知らんとし、又知り得る事を以て同胞の義務とする常識的な重大問題のみを促へて、圖表としたのであります。即ち單に概念ばかりを以て臨んで居つたいろいろな現象が、これらの圖表を一望して、或ものは丸々相違して居る事を感じ、又ある物は全く横合の方から飛び出す原因のために結果の此處に至つたものであることを、今更のやうに教へられることが多いと思ひます。これらは既往に在つたものばかりと云ふではなくて、又將來にも在りいや恐らく濃厚に進展すべき性質のものであらうと思ひます。まだ我々のよくその眞實の結局を知らぬもの、内には、少年審判の如き重要な事柄が控へて居るのであります。既往と現在を知つて、司法に繋ぐ諸現象に對し、我々同胞はどんな感有し、又處理して行かねばならぬものか。

この一點に初めて社會的覺醒をうながすべき社會問題と化するのであります。

自殺といふこと杯は、あまり見馴れ開馴れて珍らしくないのです。而もそんなら自殺といふ行爲の實現するまで、人間の探つた道程、即ち年齢に依る因由、方法、男女性別、年月別、逐年の計數、既往と現在との比較、整然として羅列して見ればどうか、と云はれると一寸困ります。これが概念の薄弱なる觀察なのです。出来ることなら一つの現象を、もつとく明確に知りたい、知つて社會人としての思考を、すべての點から盡したい、盡して人生の意義と價値をこの世に残したいとお互に思ふのですから、その根本資料として先づこの圖表を作成することにしたのであります。その他のものもかやうに有意義なものと思つて居るのであります。どうぞ御熟讀の榮を賜りたいと存じます。

もはや第一巻も終りの方に近づいてまゐりました。皆さまの御後援、御鞭撻に據つて、かくばかりの成長を見ましたことを、常に感謝して居るのであります。今年度の第二巻からは更に一層力を盡して立派なものを作り、皆様の御熱心なる御期待に副ひたいと苦心して居ります。一卷十二輯の終りには、今年度陣容を立て直してお目にかける問題の項目を列記して、又々御批判を仰ぎたいと思つて居るのであります。

この「編輯後記」欄は、開放致します。どうぞ御自由に御使用をお願い致します。皆様方互の交詢なり、又本台への御申越なり、何なりと一つ御使ひ下さるならば、此の上ない事だと存じます。未見の土地同志の統計的交詢などは、極めて面白からうと思ひます。決して御寄書の規定などは設けませぬ。毎輯收められだけ掲載して、華を添へたいと思ひます。

昭和三年三月

日本統計普及會編輯部

昭和三年三月二十日 印刷
昭和三年三月廿三日 發行



編輯兼
發行人 代表者 内山 馨 三 郎
東京市本郷區元町二丁目四十一番地
日本統計普及會

印刷所 村 上 紅 一
東京市本郷區元町二丁目四十一番地
内山模製製圖社印刷部

東京市本郷區元町二丁目四十一番地

發行所

日本統計普及會

電話小石川二三九三番



